

(倫理様式 2-2-1)

脳卒中片麻痺患者における外出着更衣動作の獲得と上肢機能との関連性

1. 研究の対象

2020年4月から2025年11月まで回復期リハビリテーション病棟に入院した初発の脳卒中片麻痺患者の内、外出着の更衣訓練の対象であった全症例。

2. 研究目的・方法

当院の回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰後の生活を考慮し、部屋着のみならず外出着用の更衣訓練も実施しています。当院先行研究にて我々は、部屋着と外出着では更衣特性の違いから自立度が異なること、さらに外出着の自立には部屋着の自立から一定の期間を要すことを報告しました。しかし、外出着の更衣動作が自立した患者の特徴については明らかにていません。脳卒中片麻痺患者の更衣動作に関する先行研究では、更衣動作の獲得には下肢麻痺の重症度やバランス能力との関連性を示した報告が少なくありません。一方で、外出着のような複雑な上肢操作が要求される更衣動作と上肢機能との関連性については十分に検討されていません。そこで今回、脳卒中片麻痺患者における外出着更衣動作の獲得と上肢機能との関連性について検討し、外出着の更衣訓練を行う際の一助にすることを目的とします。

当院リハビリテーション部では、入院時と退院時にリハビリテーション担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータを活用し、年齢、性別、回復期リハビリテーション病棟入院日数、Japan Coma Scale(JCS)、回復期リハビリテーション病棟退院時のFugel-Meyer Assessment 上肢運動の全項目(FMA)、Mini-Mental State Examination (MMSE) を用います。

これらの研究は、2026年1月～2028年3月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、認知機能の情報、生活状況の情報等

※個人情報等の取り扱いとして、個人が特例される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(倫理様式 2-2-1)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 飯野雄太

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359